

エゾシカ生息密度の評価の考え方と捕獲時期・手法の選択について（試案）

生息密度 (航空カウント 調査によるエゾ シカ発見密度)	評価	管理への反映 (イメージ)	捕獲時期 捕獲手法	備考
目標値以下	○適正な レベル	低密度維持の ための捕獲継 続又は経過観 察	安定した捕獲が可能な時期 (主に春期)・手法を選択 ・囲いわな ・簡易囲いわな ・待ち伏せ式狙撃 等	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲に係るコストは比較的低い 一回当たりの捕獲可能頭数に制限あり (岬からの一艇あたり搬出可能頭数、作 業労力など) 餌やシカ笛による誘引足止めや実施時刻 の工夫により、捕獲効率の向上を図る
目標値以上 ～同2倍未満	△要注意 レベル	さらなる捕獲 努力が必要	上記内容にて、捕獲努力量 の増加や手法の工夫による 改善を基本としつつ、春季 の巻き狩りなど更なる捕獲 圧をかけることも検討	
目標値の2倍 以上	×危険な レベル	捕獲手法の変 更が必要	大量捕獲が可能な時期(主 に冬期)・手法(巻き狩り 等)を選択	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲に係るコストは高い 一回当たりの捕獲可能頭数に制限なし